

【1】合否判定基準について

- (1) 本校への進学に対する目的意識が明確であり、かつ本校での勉学への高い意欲及び適性を有する者を選抜の対象とする。
- (2) 選抜は次の項目を点数化し、調査書の記載内容と面接を考慮しながら、求める生徒像に照らして総合的に判断し選抜する。
 - ①学力検査
 - ②中学校等から提出される書類
 - (ア) 特色選抜入学志願書 (イ) 調査書 (ウ) 諸活動の実績を証明する資料
 - ③面接
 - ④各推薦枠における実技・実演審査
- (3) 学力検査は250点満点とする。(各教科50点満点×5(教科)＝250点満点 ※思考力等を問う記述式問題以外の得点)
- (4) 「内申点」と「実績等評価」の配点合計は250点とする。
- (5) 「内申点」は3年間の5段階評定の合計《評定×9科目×3年間：135点満点》とする。
- (6) 「実績等評価」は、調査書および「諸活動の実績を証明する資料」に記載された活動分野の実績等を下記のようにランク付けする。
- (7) 特別枠(部活動活性化)は「種目別実技課題審査」を重視する。

【2】実績等評価について

- (1) 中学校等における諸活動の実績に関するランク表：実績の証明となる書類を添付すること

諸活動実績		A	B	C	D
(ア) 文化活動	音楽	最高賞レベルのもの 全琉音楽祭賞、県代表	最高賞に次ぐもの 全琉音楽祭出場、金賞	銀賞、優秀賞(吹奏楽コンクール・Bパート)	銅賞、優良賞(吹奏楽コンクール・Bパート)
	美術	最高賞レベルのもの 全国優秀賞 県最優秀賞・特選	最高賞に次ぐもの 全国入賞、県優秀賞	全国入選、県優良賞	県入選・佳作
	書道	最高賞レベルのもの 全国特別賞 県最優秀賞・特選	最高賞に次ぐもの 全国特選以上 県金賞・優秀賞	全国入選 県銀賞・優良賞	県銅賞・佳作
	文芸 意見発表等	最高賞レベルのもの 県最優秀賞	県優秀賞	県優良賞	地区優良賞以上
	琉舞等			新人賞以上	
	生徒会活動			生徒会長、副会長	生徒会役員執行部
(イ) スポーツ活動		県代表、県ベスト4以上 県選抜選手 県最優秀選手以上	県ベスト8、地区2位以上 県選抜候補選手 県優秀選手	地区ベスト4 地区選抜選手 地区最優秀選手	地区ベスト8 地区選抜候補選手 地区優秀選手
(ウ) 社会活動 (エ) ボランティア活動			表彰の規模が 全国レベルのもの	表彰の規模が 県レベルのもの	表彰の規模が 地区レベルのもの
(オ) 資格・検定・段位取得の活動	英語検定 漢字検定 数学検定 歴史検定 書写検定	2級以上	準2級	3級	
	パソコン 関連検定		1級レベル以上	3級レベル以上	
	文書デザイン検定		1級以上	2級	3級
	書道段位			8段以上	
	珠算・暗算段位		5段以上	3段	1級
	武道段位		初段以上	1級	2級

※表に記されていない事項や検討を要する種目については、検討・ランク付けを行い、判定会議において決定する。

※部活動外(クラブチーム等)の実績も該当する。

※各学年別に開催される大会(1・2年生大会)や強化大会は、県大会以外は該当しない。

- (2) その他：「特別活動」、「出席状況」、「行動の記録」も実績等評価に加味する。